



【プレスリリース】

2015年3月10日
六本木アートナイト実行委員会

テーマは『ハルはアケボノ ひかるつながるさんかすル』
メディアアートを取り入れた体験型・参加型の多彩なプログラムを展開！

六本木アートナイト 2015 メインビジュアル&主要プログラムが決定！

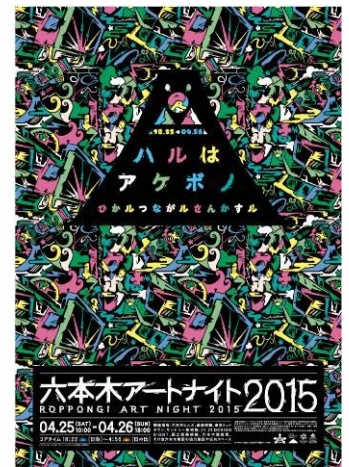
2015年4月25日(土)～26日(日)に開催する一夜限りのアートの饗宴「六本木アートナイト2015」。

六本木アートナイト実行委員会は、2013年、2014年に続きアーティストックディレクターを務める日比野克彦氏、新設されたメディアアートディレクターを務める株式会社ライゾマティクス代表取締役の齋藤精一氏と共に、今回のテーマ『ハルはアケボノ ひかるつながるさんかすル』に基づいたメインビジュアルおよび主要プログラムを決定いたしました。

2009年に始まり、今回で6回目※1を迎える「六本木アートナイト」。

今回はメディアアートに光を当てながら、テーマを『ハルはアケボノ ひかるつながるさんかすル』としました。メインビジュアルは、今最も注目されているイラストレーターの一人、ファンタジスタ歌麿呂氏がデザインしたものです。

※1:2011年は東日本大震災により中止



「六本木アートナイト2015」メインビジュアル

“光る大型アートトラック”他、テーマに基づいた様々なプログラムを展開

今回のテーマを象徴するメインプログラムとして、齋藤精一氏主導でLEDを実装した光る大型トラックによる《アートトラックプロジェクト ハル号 アケボノ号》を実施します。

東京ミッドタウン キャンपीー・スクエアに常駐する“ハル号”は、東京の様々なデータを集約し、その情報を提灯アレイディスプレイにビジュアライズ。さらに当日は、来場者がスマートフォンで文字やパターンを入力するとその情報がトラックに表示されるというインタラクティブな要素も盛り込まれています。

また、六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館を回遊する“アケボノ号”は、巨大なミラーボールを搭載しており、周辺ではダンスやライブパフォーマンスなどを行います。基点となる六本木ヒルズアリーナには巨大ジャングルジムを用意し、ライトを使ったライブパフォーマンスを実施します。



《アートトラックプロジェクト ハル号 アケボノ号》イメージ

その他にも、六本木という街の新たな魅力を再発見できるアートスポットを街中に点在させます。インスタレーション展示やパフォーマンスに加え、参加者がいてはじめて成立するアートの形態、体験・参加型のプログラムも多数実施します。また、今年初めて実施したプログラムの公募「オープン・コール・プロジェクト」で採用されたプログラムが街なかに展開され、他にもアート関連施設や団体が同時開催するプログラムもあります。

さらに「六本木アートナイト2015」当日は、各美術館やギャラリー、施設で開催されている展覧会の特別プログラムや、開館時間延長、入場料割引※2、さらに各店舗での様々なサービスなども満載です。六本木の街中がオールナイトでアートに彩られる祭典に、ぜひご期待ください。

※2:美術館により異なります。

各プログラム概要は、次頁以降を参照ください。なお本リリース内容は配信日時点のものであり、今後変更になる場合があります。



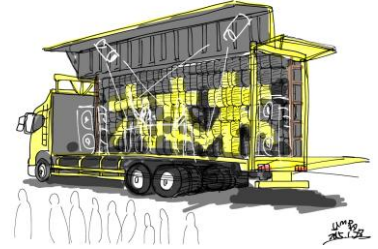
【「六本木アートナイト 2015」 広域プログラム】

六本木の街中がアートステージに！今年のテーマに沿ってセレクトされたアートプログラムで、見慣れた街の風景が一変します。数々の作品が各エリアを繋ぎ、六本木の街歩きを楽しむことができます。

メインプログラム

ライゾマティクス《アートトラックプロジェクト ハル号 アケボノ号》

もしも都市が生きていたら今どのような姿だろう。今、彼／彼女が話しをすることができたらどのような事を話すのだろう。今の六本木の様子、今の東京の様子を映し出す鏡として様々な情報やデータを刻々と反映する2台の光る大型アートトラックをフィーチャーしたプロジェクト。各トラックには巨大なミラーボールと提灯アレイが搭載され、様々なデータや情報がビジュアライズされる他、周辺では音楽ライブや観客参加型のイベントが繰り広げられます。



《アートトラックプロジェクトハル号 アケボノ号》イメージ

- ・日時:4月25日(土)18:22~4月26日(日)4:56
- ・場所:六本木ヒルズアリーナ、東京ミッドタウン、国立新美術館
- ・参加料:無料

街なかインスタレーション

「六本木アートナイト」では毎年、街なかのお店やストリート、公園などに作品を点在させることにより、六本木の街の魅力を発見できる夜をつくり出しています。今年はメディアアートを取り入れた様々なインスタレーション作品や、「オープン・コール・プロジェクト」採用プログラムなどを展開していきます。

＜主なプログラム＞

菅野 創、山口崇洋《SENSELESS DRAWING BOT》

グラフィティにおける描画プロセスのダイナミズムや即興性、記号性といった要素のみを提示する、意識も主張もない不完全無血のドローイングマシン。2011年9月に発表後、ドキュメント映像が世界中のウェブメディアに取り上げられ、第15回文化庁メディア芸術祭アート部門にて新人賞を受賞。2012年2月、国立新美術館での受賞作品展を皮切りに、韓国、スロベニア、ポルトガル、神戸、香港、甲府、アメリカ、ロシア、インドネシアと、国内外様々なフェスティバルやグループ展への参加を経て、この度、六本木に再上陸。

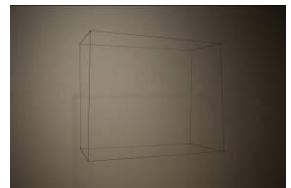


撮影:山上洋平

- ・日時:4月25日(土)10:00~4月26日(日)18:00
- ・場所:東京ミッドタウン キャンピアー・スクエア
- ・参加料:無料

山岡潤一《Morphing Cube》

コンピュータグラフィックスの幾何学形状を物理的に再現することで、様々な形状に変形するキネティックな構造体を作成。ゴム、テグス、モーター、制御用コンピュータで構成され、外枠の各頂点に配置された8つのモーターを制御することで、ゴム製の立方体が、台形や平面など様々な形状に変形したり、平行移動します。人の大きさに応じて変形する空間や建築への応用などが考えられます。



- ・日時:4月25日(土)10:00~4月26日(日)18:00
- ・場所:六本木 PARS
- ・参加料:無料

ダムタイプ《ダムタイプ映像祭》

様々なメディアを駆使し、ダンス、映像、美術、音楽、建築を横断した圧倒的なパフォーマンスを発表してきたダムタイプ。今回はダムタイプの名作を映画館の大型スクリーンで鑑賞できるスペシャルプログラムを実施します。上映作品は、鋭くコミカルに消費社会を描写した「pH」、セクシャリティを問う「S/N」、生と死を考察する「OR」、記憶をテーマにした「memorandum」、情報の生成に着目する「Voyage」の全5作品。この機会をお見逃しなく。



- ・日時:4月25日(土)21:00~4月26日(日)5:00の間に計5作品を順次上映
- ・場所:TOHO シネマズ 六本木ヒルズ
- ・鑑賞料金:1,000円/1作品(予定)
- ※チケットに関する詳細は決定次第「六本木アートナイト2015」公式ウェブサイトにて発表します。

おかだゆか&川名宏和《KAWAT Tower》 「オープン・コール・プロジェクト」採用プログラム

光るパイロン(単体)、3段重ねのパイロン、人が関わることで変化するインタラクティブなパイロンの3種類を展開します。人に注意を促すパイロン本来の役割を果たしながら、日常と非日常をつなぎ、アートを身近に感じさせる「六本木アートナイト2015」の入り口となる作品です。



- ・日時:4月25日(土)10:00~4月26日(日)18:00
- ・場所:東京ミッドタウン キャンピアー・スクエア、六本木ヒルズアリーナ、他
- ・参加料:無料



ジェイ・ムーン《結びつく街》 「オープン・コール・プロジェクト」採用プログラム

韓国出身でニューヨーク在住のアーティスト、ジェイ・ムーンのレゴを使った参加型アートプロジェクト。レゴを使って木を覆うように作るツリーハウス、ワイヤーとレゴの部品を用いて都市景観や自然の風景を作るウェブシティーの基礎をムーン自身が東京ミッドタウンに施した後は、参加者の手によって自由にレゴを加えてもらい、作品を完成させてもらいます。様々な参加者と街で作品を作り上げるこのプロジェクトを通して、街と多くの人との結びつきを感じてほしいと願い生まれた企画です。



- ・日時: 4月25日(土)11:00~4月26日(日)5:00(予定)
- ・場所: 東京ミッドタウン プラザ 1F

※その他複数のプログラム展開を予定しております。詳細は次回リリースにて発表いたします。

街なかパフォーマンス

六本木の様々な場所でパフォーマンスが展開されます。「オープン・コール・プロジェクト」採用プログラムも登場し、非日常的な一夜を作り出します。

<主なプログラム>

《ダンス・トラック・プロジェクト》

アートトラックの荷台スペースを移動可能な特設ステージとして使用し、周囲の景観を取り込んだサイトスペシフィックなダンスプロジェクト。ダンスを軸に音楽や演劇・映像など多分野の先鋭的なアーティストが集結します。

- ・日時: 4月25日(土)19:00~4月26日(日)5:00 の約1時間ごと
- ・場所: 六本木ヒルズ 66 プラザ
- ・参加アーティスト: ~~東野祥子~~、(※出演者に変更になりました。) Jon(犬)、鈴木ユキオ、向雲太郎、新宅一平、北尾亘(Baobab 主宰)、未来.Co、他
- ・参加料: 無料

《サイレントダンスプログラム》

公園で行われる完全サイレントなダンスプログラム。“場”に合わせた新作プログラムをお楽しみください。

- ・日時: 4月25日(土)時間未定
- ・場所: 三河台公園
- ・参加料: 無料

ズンマチャング《ズンマチャングのかげら箱》 「オープン・コール・プロジェクト」採用プログラム

誰もが幼少時に経験する“ごっこ遊び”の究極の進化系といえるアーティスト集団ズンマチャングによる、移動型ステージショー。子供にとっては親しみやすく、大人にとってはどこか懐かしい、キュートでカラフルでポップなステージショーです。

- ・日時: 4月25日(土)10:00~4月26日(日)18:00の間、随時
- ・場所: 東京ミッドタウン アトリウム、ピラミデビル、六本木ヒルズアリーナ(予定)
- ・参加料: 無料

スイッチ総研《六本木アートスイッチ》 「オープン・コール・プロジェクト」採用プログラム

「スイッチ」を押すと繰り広げられる3~30秒の演劇世界にご案内します。スイッチひとつで突如出現する劇的時間であなたは目撃者、はたまた主人公。いろんな物語が潜んでいるスイッチを“ON”にするのはあなたです。

- ・日時: 4月25日(土)10:00~4月26日(日)18:00の間、随時
- ・場所: 六本木商店街内店舗、他(予定)
- ・参加料: 無料

街なかミーティング

参加者が加わってはじめて成立するアートプログラム。出会い、語らい、聴き、動き、体感する…。鑑賞という一方通行だけではないアートのかたち、ここにありま。

<主なプログラム>

《第三回 六本木夜楽会》

毎年大好評の六本木夜楽会を今年も開催。アーティストや作家、クリエイティブ・ディレクターなど、各界で話題を集める人物たちが「六本木アートナイト 2015」に集結し、各所で熱いウロストークを繰り広げていきます。六本木周辺の飲食店でアーティストたちが少人数の参加者とともに同じテーブルを囲むと、トークイベントはスタート。トーク内容はテーマなし、台本なしで、予測不可能な展開へと発展していきます。その場で即興的な化学反応の数々が起こる奇跡の一夜をお楽しみください。

※参加アーティスト、参加方法、参加料金などの詳細は決定次第、随時「六本木アートナイト 2015」公式ウェブサイトにてお知らせいたします。



日比野克彦《昨日みた夢は何ですか？》

「六本木アートナイト 2015」アーティストティックディレクターの日比野克彦が企画するワークショップを26日(日)朝から昼にかけて実施します。日比野克彦と一緒に語りながら、朝食をとり、集まった各々が、昨晚見た夢を思い出します。描き初めをするように、朝の光のもと、自分の夢を描いてゆきます。日比野克彦にも手を加えてもらい、あなたの夢の絵を完成させましょう！子供から大人までどなたでも参加できます。最後には、みんなの絵を写真に撮ってひとつの映像につなぎます。「六本木アートナイト 2015」の夢の一夜を日比野克彦と一緒に記憶にのこしましょう。

- ・日時:4月26日(日)9:30~12:00(予定)
- ・場所:未定
- ・参加料:500円(予定)
- ・定員:40名(予定) ※要事前申し込み

《ハルはアケボノカフェ supported by Seibu & Sogo》

「六本木アートナイト 2015」のコンセプトカフェスペース。「都市の文化は夜創られる！」というコンセプトのもと、刺激的なトーク、ライブ・ペインティング、脳波ビジュアライゼーション、ライブ・エレクトロニック・ミュージックとDJ ナイトなどを組み合わせた多様なプログラムで、アートな夜の楽しみ方を提案します。ヨーロッパで注目されているシステム・概念である「Night Mayor」(夜の市長)の成功事例を持つオランダ・アムステルダム市とのコラボレーションも。東京の春のアケボノを体感しよう。

- ・日時:4月25日(土)11:00~4月26日(日)4:56(予定)
- ・場所:六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース
- ・参加料:無料



※その他複数のプログラム展開を予定しております。詳細は次回リリースにて発表いたします。

【「六本木アートナイト 2015」各館プログラム】

六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館の各施設でも、「六本木アートナイト 2015」の特別プログラムとして、様々なコンテンツを用意しています。

【六本木ヒルズ プログラム】

六本木ヒルズは昨年同様、一夜限りの美術館に変貌。普段の風景を一変してしまうインスタレーションや参加型のプログラムなどを展開していきます。

＜特別プログラム＞

あいう **襲嘔《虹の滝(TBC)》**

可視光線(スペクトル)を視覚化した「虹」は1960年代以降、襲嘔のトレードマークになります。襲嘔は触覚、聴覚、嗅覚など諸感覚を通して世界の在り方を追究していましたが、絵画を拒否した彼が見えるものにして光をそのまま視覚化したものと言えるかもしれません。「虹」のシリーズはスペクトルを赤・橙・黄・緑・青・藍・紫に分け、その後、さまざまなメディアで展開されました。《虹の滝》は、1987年、パリのエッフェル塔50周年記念祭にあわせ、エッフェル塔から長さ300メートル、幅5メートルの虹のリボンを地上へ掛け流したイベントに使われたもので、2012年の東京都現代美術館の個展にも出品されました。「六本木アートナイト 2015」では高さ40メートルのウェストウオーク天井からダイナミックな虹をご覧いただきます。

- ・日時:4月25日(土)10:00~4月26日(日)18:00
- ・場所:六本木ヒルズ ウェストウオーク
- ・参加料:無料

大山エンリコイサム《ライブ・ペインティング・パフォーマンス》

グラフィティからその特徴であるレタリングの文字の形、色彩、矢印や星などの装飾性を取り除き、クイックターンと呼ばれるダイナミックな線描運動だけを抽出。ストリートで展開されるグラフィティから派生し、独自の表現を紙やキャンバスを支持体にして発展させてきましたが、その発表の場は美術館やギャラリーに限定されず、ライブハウスなどでのパフォーマンスも行っています。「六本木アートナイト 2015」でも、グラフィティのライブ感を活かしたドローイングを大壁面に描きます。

- ・日時:4月25日(土)10:00~4月26日(日)18:00 ※途中ライブ・ドローイングあり
- ・場所:六本木ヒルズ ウェストウオーク
- ・参加料:無料



大山エンリコイサム ライブ・ペインティング・パフォーマンス アジアン・カルチュラル・カウンシル 50周年記念ガラ・ディナー マンダリン・オリエンタル・ホテル、ニューヨーク 2014年11月
Jennifer Trahan for A. Silver Photography



カールステン・ニコライ《future past perfect pt. 03》

「Future past perfect」シリーズの一環として2009年に最初に発表された短編映像作品。静かな秋の東京の夜にひとりの男が車をとめ、自動販売機で飲料を買うためにコインを投入すると、突然、機械が不可思議なパフォーマンスを始めます。

- ・日時:4月25日(土)10:00~4月26日(日)18:00
- ・場所:六本木ヒルズ ウェストウォーク
- ・参加料:無料
- ・出演:嶋田久作
- ・サウンド:アルヴァ・ノト
- ・音声:アン=ジェイムス・シャトン
- ・ディレクター:カールステン・ニコライ
- ・第二ディレクター:サイモン・メイヤー
- ・音楽:alva noto . unitxt u_08-1, taken from alva noto - unitxt (raster-noton 2008)



Carsten Nicolai
2008
Photo: Sebastian Mayer

ポクロン・アナディン《カウンター・アクト II》

ポクロン・アナディンの代表的なシリーズ「アノニシティ(匿名)」では、一般の人々を被写体にしたが、彼らが丸い鏡を顔の前に据えることで、それが太陽の光を反射し、モデルのアイデンティティは匿名になります。ストリートで撮影されるこのシリーズは、モデルがもはや誰でもありうる状態で周囲の日常風景を切り取り、私たちの想像力を無限の光の世界へと誘います。「アノニシティ(匿名)」シリーズの新作となる東京版では、都市化が進んだ東京の風景のなかで、今も残される歴史的な建造物や文化的風景を採り込みます。本作がライトボックス(コルトン)に設置され、地下道を通る人々の目に触れるとき、見る人誰もがその風景の一部になれるのです。この作品の素材である「光」は写真技術に欠かせないだけでなく、私たちにこの世界を見せてくれるものでもあり、各地の宗教、文化、神話、哲学、科学の分野でも最も重要な信仰や考察の対象でもあります。

- ・日時:4月25日(土)10:00~4月26日(日)18:00
- ・場所:六本木通り地下通路
- ・参加料:無料



Counter Acts II
Chromogenic print and LED lightbox
400 x 187.14 cm
2012 - 2015

アローラ&カルサディーヤ《気性とオオカミ》

メトロハットから66プラザへの入口で、約30名の人々が通道の両側に並んで皆さんを迎えます。彼らは音楽家、マッサージ師、セラピスト、武道家、書道家、農家、陶芸家、技術者、工芸家、ヘアドレッサー、シェフ、医者、獣医など、手や触覚を使う領域で仕事をしている人たちです。作品タイトルは、古典調律において変則的なインターバルが生むオオカミの吠声のような音(ウルフの五度と呼ばれる)に由来します。両側から握手を求められ、メッセージを送る人と送られる人の間には、社会的な距離感の調和と不協和音が生み出されるのです。

- ・日時:未定
- ・場所:六本木ヒルズ 66プラザ
- ・参加料:無料



リトル・サン《リトル・サン・ガーデン》

[リトル・サン]は太陽電池式の小さなライトです。「リトル・サン・ガーデン」では、六本木ヒルズの66プラザに2000個近い[リトル・サン]を使い、32時間の光る花畑をつくります。太陽光による5時間の充電で10時間のソフトな照明、あるいは4時間のより明るい照明を提供します。震災後の日本では、エネルギー問題が大きな、そして現実的な課題となっています。自ら小さな太陽「リトル・サン」を持っていれば、緊急非難時に活用できるだけでなく、それが遠くアフリカの電気のない地域の人々の生活を明るく照らすことにもなるのです。「六本木アートナイト 2015」では、「リトル・サン・ガーデン」で使っている[リトル・サン]を期間中販売します。みなさんもこのソーシャル・プロジェクトに参加してみませんか。

- ・日時:未定
- ・場所:六本木ヒルズ 66プラザ
- ・参加料:未定



Photo: Penny Wang

チームラボ《クリスタル花火》

様々なスペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団チームラボ制作による、スマートフォンを利用したインタラクティブな作品。来場者が自分のスマートフォンで、好きな花火を選び、願いを込めながら投げ込むと、光のクリスタルでできた立体的な花火が打ち上がります。

- ・日時:未定
- ・場所:六本木ヒルズ 毛利庭園
- ・参加料:無料





<期間中の展覧会>

『連載完結記念 岸本斉史 NARUTOーナルトー展』

『週刊少年ジャンプ』で1999年に連載が始まり、国内外で絶大な支持を集めてきた『NARUTOーナルトー』初の展覧会が、2014年11月の連載完結を記念して開催されます。『NARUTOーナルトー』は、主人公の少年忍者ナルトが数々の試練や戦いを通じて仲間とともに成長し、生まれながらに背負った宿命をも乗り越えて、最強の忍者“火影(ほかにげ)”を目指す物語。単行本の世界累計発行部数は2億部を超える大ヒットマンガです。展覧会では、作者・岸本斉史監修のもと、貴重な原画、映像、立体造形などで壮大な世界観を体感できるほか、NARUTOーナルトー展オリジナルグッズも充実のラインナップで販売。連載15年のすべてが凝縮された、必見の展覧会です。

- ・開催期間:4月25日(土)~6月28日(日)10:00~20:00 (入場は閉館の30分前まで)
- ・休館日:会期中無休
- ・場所:森アートセンターギャラリー(六本木ヒルズ森タワー52階)
- ・入館料(当日券):一般・学生2,000円、中学・高校生1,500円、4歳~小学生800円
- ・展覧会公式サイト:<http://naruto-ten.com>



『宇野亜喜良「DEUX LIVRES」展』

日本を代表するイラストレーター宇野亜喜良。2015年4月29日(水・祝)刊行予定の絵本、絵:宇野亜喜良、文・短歌:穂村弘『恋人たち』と、昨年未刊行された絵本『X字架(じゅうじか)』の原画を中心に40余点を展示致します。メランコリックな少女たちがまどろむ、モダンで幻想的な宇野亜喜良ワールドをお楽しみください。

- ・開催期間:4月24日(金)~5月24日(日)12:00~20:00
- ・休館日:会期中無休
- ・場所:ROPPONGI HILLS A/D GALLERY(六本木ヒルズ アート&デザインストア内)
- ・入館料:無料



『「X字架(じゅうじか)」より』
©Aquirax Uno

<一般の方からのお問い合わせ先>

六本木ヒルズ(住所:東京都港区六本木6-10-1)

TEL:03-6406-6000(六本木ヒルズ総合インフォメーション) <http://www.roppongihills.com>

【森美術館 プログラム】

「六本木アートナイト2015」初日の4月25日(土)にリニューアル・オープンを迎える森美術館では、『シンプルなかたち展:美はどこからくるのか』を開催。さらに4月25日(土)に限り、翌朝6:00まで開館を延長し、トークセッションなど、特別企画を実施します。

<特別プログラム>

『シンプルなかたち展』を企画者自ら語る

『シンプルなかたち展:美はどこからくるのか』キュレーターのジャン・ド・ロワジー(パレ・ド・トーキョー プレジデント)と南條史生(森美術館館長)が、展覧会のコンセプトや参加アーティストの選定、展示作品について紹介します。 ※日英同時通訳付

- ・日時:4月25日(土)13:30~15:30(開場:13:00)
- ・場所:アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー49階)
- ・出演:ジャン・ド・ロワジー(パレ・ド・トーキョー プレジデント、本展共同キュレーター)、南條史生(森美術館館長、本展共同キュレーター)
- ・参加料:一般1,000円、森美術館メンバーシップ・プログラム(MAMC)メンバー無料
※要事前申し込み
- ・定員:150名



ジャン・ド・ロワジー
© Pierre-Anthony Allard, 2014

アーティストトーク「MY WORK」

展覧会のために来日する『シンプルなかたち展:美はどこからくるのか』の出演アーティストが自作について語ります。 ※日英同時通訳付

- ・日時:4月25日(土)19:00~21:00(開場:18:30)
- ・場所:森美術館 展示室内
- ・出演:カールステン・ニコライ、グザヴィエ・ヴェイヤン
- ・参加料:無料 ※別途要入館料、要事前申し込み
- ・定員:80名



カールステン・ニコライ
Photo: Sebastian Mayer, 2005



グザヴィエ・ヴェイヤン
© Diane Arques/adagp, Paris, 2015



<期間中の展覧会>

『シンプルなかたち展:美はどこからくるのか』

19世紀から20世紀にかけてヨーロッパの近代化で再認識され、工業製品や建築のデザイン、芸術に多大な影響を与えた「シンプルなかたち」の美学は、一方で、自然や世界各国の伝統文化や民俗芸術にも数多く見出すことができます。

本展は、古今東西の「シンプルなかたち」約130点を9つのセクションで構成します。古くは先史時代の石器から、現代アーティストによるダイナミックで先鋭的なインスタレーションまで、地理的なひろがりや歴史的なつながりを示しながら展覧し、普遍的な美を描き出します。

森美術館リニューアルオープンを記念する本展は、ポンピドゥー・センター・メスとエルメス財団による初の共同企画展の日本巡回となります。また、日本展限定として、日本の美術史を彩る名品も展示します。

- ・開催期間:4月25日(土)~7月5日(日)10:00~22:00
- ・開館時間:10:00~22:00(入場は閉館の30分前まで)
 ※火曜日のみ17:00まで開館(ただし5月5日(火・祝)は22:00まで)
 ※4月25日(土)は「六本木アートナイト2015」開催にともない翌朝6:00まで
- ・休館日:会期中無休
- ・場所:森美術館(六本木ヒルズ森タワー53階)
- ・入館料:一般1,800円、学生(高校・大学生)1,200円、子供(4歳~中学生)600円、シニア(65歳以上)1,500円



アンリ・マティス
 《「ジャズ」9 形態》
 1947年
 ステンシル、紙
 40.8 x 57.7 cm
 所蔵:神奈川県立近代美術館

※東京シティビューは改修工事のため休館中です。リニューアルオープンは4月29日を予定しています。

<一般の方からのお問い合わせ先>

森美術館(住所:東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53階)
 TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル) <http://www.mori.art.museum>

【東京ミッドタウン プログラム】

東京ミッドタウンでは、巨大アートや光を使ったパフォーマンスライブ、ギネス世界記録®へ挑戦するチャレンジイベント、ワークショップなど、アートを五感で楽しめるイベントを多数開催。

ガレリア館内は通常営業、プラザ1F、アトリウムは特別に翌5:00まで開館を延長します。

<特別プログラム>

■MIDTOWN meets GODZILLA ~RETURNS~

世界で活躍するクリエイターに多大な影響を与え、様々な時代、国境、文化の違いを越えて世界中から愛されている日本の映画キャラクター「ゴジラ」が東京ミッドタウンの玄関口に登場。ハリウッド映画版「GODZILLA ゴジラ」の実物の約7分の1のスケールの頭部をリアルに再現し、コンクリートから顔を出す約4メートルのゴジラヘッドは、精巧でありながら迫力満点の巨大アートです。

- ・日時:4月23日(木)~5月24日(日)
 ※4月25日(土)18:30~24:00は、「六本木アートナイト2015」限定特別演出を実施
- ・場所:東京ミッドタウン プラザ1F 外苑東通り沿い
- ・参加料:無料
- ・協力:東宝株式会社



イメージ画像

■ギネス世界記録®に挑戦! ~LED ライトでひかるつながるさんかすル~

参加者500名でLEDライトを一気に灯し、六本木アートナイトの巨大ロゴを作るギネス世界記録を来場者とともに挑戦! イベント終了後、参加者の方にはLEDライトをプレゼント。

※ギネス世界記録®はギネスワールドレコーズの登録商標です。

- ・日時:4月25日(土) 13:00~19:00 受付、19:00~19:15 認定イベントチャレンジ、
 19:15~LEDライト点灯
- ・場所:東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン 芝生広場
- ・参加料:無料
- ・協力:多摩大学村山貞幸ゼミ「日本大好きプロジェクト」



イメージ画像



■Mid-Space ～ひかるパフォーマンス～

光と音楽を使ったパフォーマンスライブを実施します。アートな夜に浮かび上がる様々な光のパフォーマンスをお届けします。一夜限りのスペシャルステージを是非お楽しみください。

- ・日時:4月25日(土)19:00～23:00
- ・場所:東京ミッドタウン アトリウム
- ・参加料:無料

■ストリートミュージアム

明日を担うアーティストやデザイナーの発掘と応援をする「Tokyo Midtown Award」。2014年度のアートコンペ受賞作家6組が、「華やかな春」をテーマに制作したアート作品でプラザ B1F のストリートをジャックします。インスタレーション、彫刻、写真などで館内を盛り上げ、アートで華やぐ春を演出します。

- ・日時:3月20日(金)～4月26日(日)
※「六本木アートナイト2015」開催にともない4月25日(土)は10:00～24:30
4月26日(日)は10:00～18:00
- ・場所:東京ミッドタウン プラザ B1F
- ・出展作家: Tokyo Midtown Award 2014 アートコンペ受賞者
大塚亨、加藤立、小林万里子、住田衣里、原田武、山田弘幸
- ・参加料:無料



■ストリートミュージアム特別プログラム

明日を担うアーティストやデザイナーの発掘と応援をする「Tokyo Midtown Award」。2014年度のアートコンペ受賞作家6組が、「六本木アートナイト2015」の東京ミッドタウンプログラムに参加し、アートナイト限定のワークショップや参加型パフォーマンスなどの、特別プログラムを実施します。

- ・日時:4月25日(土)19:00～23:30(予定)
- ・場所:東京ミッドタウン プラザ B1F
- ・出展作家: Tokyo Midtown Award 2014 アートコンペ受賞者
大塚亨、加藤立、小林万里子、住田衣里、原田武、山田弘幸
- ・参加料:一部有料



■桜ボディアート

様々な分野の最新アーティストが春の代名詞である「桜」のアートを、参加者の手や顔に直接描きます。暗闇でも目立つ蛍光塗料で描かれる桜を身につけて、朝までお楽しみください。

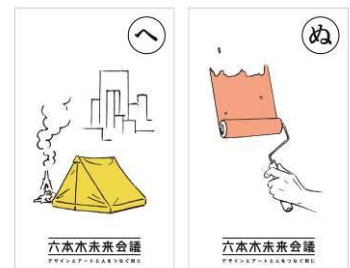
- ・日時:4月25日(土)16:00～18:00、19:30～22:30
- ・場所:東京ミッドタウン ガレリア館内
- ・アーティスト:C-DEPOT(伊奈章之、内田有、金丸遥、小松冨果、コルシカ、Riyo)
- ・参加料:無料



■「六本木未来かるた大会」by 六本木未来会議

WEB マガジン「六本木未来会議」でクリエイターが語った、デザイン&アートで六本木を魅力的にするアイデア&ヒント集が「かるた」になりました。「六本木アートナイト2015」では、好きな絵札がもらえる「かるた配布」と、みんなで楽しむ「かるた大会」を開催します。かるたは全67種類(数量限定・なくなり次第終了)。かるたは、「六本木未来会議」のホームページからもダウンロード・印刷して遊ぶことができます(3月公開予定)。

- ・日時:4月25日(土)17:00～22:00 かるた配布、18:00～23:00 かるた大会(予定)
- ・場所:東京ミッドタウン ガレリア館内
- ・参加料:無料



■武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ企画

山田太郎プロジェクト～六本木アートナイトスペシャル～

偶然出逢ったお客様の顔をタブレット上の自分の顔とする「山田太郎」が「六本木アートナイト2015」に登場!「山田太郎」のタブレットの顔には、気がつくと偶然出逢ったあなたの顔が映し出されます。一時的で匿名性のあるインターネットを現実世界に引き出したアートプロジェクトです。東京ミッドタウンに突如現れる何人もの「山田太郎」を是非探してみてください。

- ・日時:4月25日(土)17:00～24:00
- ・場所:東京ミッドタウン全域
- ・アーティスト:ノガミ カツキ
- ・参加料:無料
- ・企画:武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ



Photo: mayo uchimura



■まちなかコンサート in 東京ミッドタウン

東京の音楽文化の活性化、創造力の向上を目指す音楽フェスティバル「Music Program TOKYO」の一環として、芸術や音楽に親しみがもてる環境作りを目指し、都内各地で行われる、東京文化会館がプロデュースする地域に根ざした「まちなかコンサート」。今回は、「六本木アートナイト 2015」スペシャルアンサンブルを東京ミッドタウンにて開催します。

- ・日時: 4月25日(土)・26日(日) 12:00～、15:00～(各回約20分)
- ・場所: 東京ミッドタウン アトリウム
- ・出演: 東京音楽コンクールの入賞者を中心としたアンサンブル
- ・参加料: 無料
- ・主催: 東京都/東京文化会館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
- ・協力: 東京ミッドタウン



■フラワーアートアワード 2015 in 東京ミッドタウン

東京ミッドタウンのパブリックスペースを舞台に開催される、新しいスタイルのフラワーアートのコンペティション、「フラワーアートアワード 2015 in 東京ミッドタウン」。世界を目指す日本の花作家たちが、「ZEN～禅～」をテーマにバラをメインモチーフとした誰も見たことのないスケール感ある作品を発表します。

- ・日時: 4月20日(月)～4月26日(日) 11:00～21:00
- ・場所: 東京ミッドタウン ガレリア館内
- ・主催: フLOWERアートアワード 2015 実行委員会



昨年の様子

■「フラワーアートアワード 2015」フラワーパフォーマンス

東京ミッドタウンのパブリックスペースを舞台に開催される、新しいスタイルのフラワーアートコンペティション「フラワーアートアワード 2015」で実績のある最新フラワーアーティスト達による一日限りのライブパフォーマンスの饗宴。

- ・日時: 4月25日(土) 16:00～17:00
- ・場所: 東京ミッドタウン アトリウム
- ・出演者: 吉村映美(2006年フランス「アート・フローラル国際コンクール」チャンピオン)、
島山秀樹(Lotus Garden 代表)、他2アーティスト予定
- ・協力: 市川バラ園、ローズファームケイジ



島山秀樹

■富士山グラスで乾杯！

2008年度の「Tokyo Midtown Award」デザインコンペで審査員特別賞を受賞し商品化された「富士山(ふじやま)グラス」。ビールを注ぐと、雪を被った富士山のように見え、美しいシルエットが現れます。東京ミッドタウン内の「Ba-tsu」にて、このグラスを使ったドリンクを提供。「六本木アートナイト 2015」当日は富士山グラスで一杯いかがでしょうか。

- ・日時: 4月25日(土) 11:00～29:00(L.O.28:00)
- ・場所: 東京ミッドタウン プラザ 1F「Ba-tsu」



■サモトラケのニケ(複製)の展示

ルーヴル美術館の至宝のひとつ、「サモトラケのニケ」の複製が東京ミッドタウンに登場！
目の前で見るとニケ像はかなりの迫力です。是非この機会にご覧ください。

※「サモトラケのニケ」は国立新美術館にて開催中の「ルーヴル美術館展」には出展されていません。

- ・日時: 2月18日(水)～6月1日(月)
- ・場所: 東京ミッドタウン ガレリア B1F「DEAN & DELUCA」前



＜一般の方からのお問い合わせ先＞

東京ミッドタウン(住所: 東京都港区赤坂 9-7-1)

TEL: 03-3475-3100(東京ミッドタウン・コールセンター) <http://www.tokyo-midtown.com>



【サントリー美術館 プログラム】

『生誕三百年 同い年の天才絵師 若冲と蕪村』展を開催中のサントリー美術館では、4月25日(土)は特別に24:00まで開館延長(最終入館23:30)、さらに観覧料がこの日に限り一律500円。光をテーマにした特別プログラムも行います。

<特別プログラム>

■みんなで光の箱をつくろう！

「光の箱」とは光によってその模様に変化するふしぎな箱です。ワークショップを行い、みんなで「光の箱」を制作し、できあがった箱を組み合わせ、カラフルな柵目模様の光の壁をつくっていきます。光の壁は、4月26日(日)18:00まで1階レクチャールームに展示します。4月18日(土)には「六本木アートナイト2015」に先立って事前ワークショップを開催します。

- ・日時:4月25日(土)11:00~13:00、14:00~16:00、17:00~19:00、20:00~22:00
- ・場所:サントリー美術館1階レクチャールーム
- ・講師:松村泰三(造形作家)
- ・参加料:無料 ※当日整理券配布
- ・定員:各回20名



■夜の虹をつくろう！

体やものを動かすとそこに虹ができる部屋が出現します。いろいろなものを動かして、夜の美術館で光のふしぎを体験してみませんか。造形作家・松村泰三氏による体験型作品です。

- ・日時:4月25日(土)13:00~23:30
- ・場所:サントリー美術館6階ホール
- ・参加料:無料 ※別途要入館料、出入自由、事前申し込み不要



撮影:御厨慎一郎

■フレンドリートーク

スライドを使った、子供から大人まで楽しめる『生誕三百年 同い年の天才絵師 若冲と蕪村』展のやさしい展示解説を行います。

- ・日時:4月26日(日)11:00~11:20、13:00~13:20、15:00~15:20
- ・場所:サントリー美術館6階ホール
- ・参加料:無料 ※別途要入館料、事前申し込み不要
- ・定員:各回80名



撮影:御厨慎一郎

<期間中の展覧会>

■『生誕三百年 同い年の天才絵師 若冲と蕪村』

正徳6年(1716)は伊藤若冲と与謝蕪村が誕生し、江戸時代の画壇にとって、ひとつの画期となりました。若冲は彩色鮮やかな絵や水墨画を得意とし、蕪村は中国の文人画の技法による山水図や簡単な筆遣いで俳句と絵が響き合う俳画を得意としていました。本展覧会は、若冲と蕪村の生誕300年を記念して開催するもので、伊藤若冲筆「象と鯨図屏風」や、92年ぶりに存在が確認された与謝蕪村筆「蜀栈道図」をはじめ、若冲と蕪村の代表作品や関連作品を展示します。

- ・開催期間:2015年3月18日(水)~5月10日(日)
- ・開館時間:10:00~18:00(入館は閉館30分前まで)
※金・土、5月3日(日・祝)~5日(火・祝)は20:00まで開館
※4月25日(土)は「六本木アートナイト2015」開催にともない24:00まで開館
- ・休館日:毎週火曜日(ただし5月5日(火・祝)は開館)
- ・場所:サントリー美術館展示室
- ・観覧料:一般1,300円、大学・高校生1,000円、中学生以下無料
※4月25日(土)は「六本木アートナイト2015」割引で一般および大学・高校生一律500円



<一般の方からのお問い合わせ先>

サントリー美術館(住所:東京都港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア3階)
TEL:03-3479-8600 <http://suntory.jp/SMA/>



【21_21 DESIGN SIGHT プログラム】

通常 20:00 閉館のところを、4月25日(土)は特別に24:00まで開館延長(最終入館 23:30)し、「単位」に着目した展覧会のスペシャルイベントを行います。

<特別プログラム>

■六本木アートナイト特別企画「みんなで測る、単位展計測ツアー」

展覧会企画チームとともにいろいろな展示を体験しながら会場をまわる単位展計測ツアーです。単位や展示にまつわる話、デザインにおける単位の観点など、展覧会企画チームのそれぞれの視点を交えながら会場を観覧することで、より本展をお楽しみいただけます。「六本木アートナイト 2015」にあわせて、六本木の街中も計測してみたいかでしょうか。

- ・日時:4月25日(土)15:00~17:00
- ・場所:21_21 DESIGN SIGHT
- ・参加費:無料 ※別途要入場料



Photo: 木奥恵三

■六本木アートナイト特別企画「単位展で会いましょう。」

「六本木アートナイト 2015」にあわせて、単位展企画チーム、参加作家と来場者の方々による交流会「単位展で会いましょう。」を開催します。展覧会を構築する過程でのリサーチや制作プロセス、また展示制作における話など、この日にしか聞けない話をスライドやクロストークを交えて行います。当日は本展企画チーム、参加作家がお待ちしておりますので、展覧会のこと、作家による作品解説など、来場者の皆様は日常会話の延長でコミュニケーションをお楽しみください。

- ・日時:4月25日(土)20:00~22:00
- ・場所:21_21 DESIGN SIGHT
- ・参加費:無料 ※別途要入場料



Photo: 川瀬一絵

※特別プログラムの詳細は 21_21 DESIGN SIGHT ウェブサイトをご確認ください。

<期間中の展覧会>

■『単位展—あれくらい それくらい どれくらい?』

空気、水、モノ、光、音、自然環境——そのままでは捉えにくい世界に一定の基準を設けることによって比較や共有を可能にした知恵と思考の道具。それが「単位」です。長さを測るメートル、重さを量るグラム、時間を計る秒など、私たちの身の回りには様々な単位があり、生活するうえで欠かせないものとなっています。身近にあるデザインも数々の単位の掛け合わせによって生まれています。単位で遊ぶと世界は楽しくなる。単位を知るとデザインはもっと面白くなる。単位というフィルターを通して、私たちが普段何気なく過ごしている日常の見方を変え、新たな気づきと創造性をもたらす展覧会です。

- ・開催期間:2月20日(金)~5月31日(日)
- ・開館時間:11:00~20:00 (入館は 19:30 まで)
※4月25日(土)は「六本木アートナイト 2015」開催にともない 24:00 まで開館 (入場は 23:30 まで)
- ・場所:21_21 DESIGN SIGHT
- ・休館日:火曜日(5月5日(火・祝)は開館)
- ・入場料:一般 1,000 円、大学生 800 円、中高生 500 円、小学生以下無料



■単位展コンセプトショップ「Measuring Shop」

『単位展』にあわせて会場 1 階スペースを、量り売りを中心に、単位にまつわるショップとして無料開放します。色んなものを量って単位を体感しよう!(ショップ監修:山田 遊)

- ・開催期間:2月20日(金)~5月31日(日)11:00~20:00 (入館は 19:30 まで)
※4月25日(土)は「六本木アートナイト 2015」開催にともない 24:00 まで開館 (入場は 23:30 まで)
- ・場所:21_21 DESIGN SIGHT 1階
- ・休業日:火曜日(5月5日(火・祝)は開館)
- ・入場料:無料



Photo: 木奥恵三

<一般の方からのお問い合わせ先>

21_21 DESIGN SIGHT (住所:東京都港区赤坂 9-7-6 東京ミッドタウン・ガーデン内)

TEL:03-3475-2121 <http://www.2121designsight.jp>



【国立新美術館 プログラム】

4月25日(土)は、特別に22:00まで開館延長します。様々な展覧会やプログラムにご期待ください。

<特別プログラム>

■「ニッポンのマンガ*アニメ*ゲーム」「ニキ・ド・サンファル展」さきどりワークショップ

動きだせ！色とかたち アニメーションのしくみを知ろう。

かたちが動いて、見る人を魅了するアニメーション。でも、どうして動いているように見えるのでしょうか。このワークショップでは、9月より展覧会が開催されるフランス人作家ニキ・ド・サンファルの今にも動き出しそうな色やかたちを参考にしながら、6月より開催予定の「ニッポンのマンガ*アニメ*ゲーム」展に先駆けて、アニメーションのしくみを知り、体験します。子供から大人までどなたでも参加できます。

- ・日時:4月25日(土) 時間未定
※開催時間は決定次第、「六本木アートナイト2015」公式ウェブサイト上でお知らせします。
- ・場所:国立新美術館 1階ロビー
- ・参加料:無料 ※事前申し込み不要

■「アーティスト・ファイル 2015」展予告映像公開

2015年7月からの「アーティスト・ファイル 2015」展開催に先駆け、展覧会予告映像を公開します。これをみれば、展覧会の開催が楽しみになること間違いなし。六本木アートナイトのための特別映像に、どうぞご期待ください。

- ・日時:①4月25日(土)10:00~22:00 ②4月26日(日)10:00~18:00
- ・場所:①国立新美術館内 ②国立新美術館内 乃木坂駅美術館直結通路(予定)
- ・観覧料:無料

■「ニキ・ド・サンファル展」関連企画(仮称)

9月に大回顧展を開催する「ニキ・ド・サンファル展」の作品映像を特別上映します。

- ・日時:4月25日(土)18:00~22:00
- ・場所:国立新美術館 1階ロビー
- ・観覧料:無料



ニキ・ド・サンファル《白いダンシングナナ》
1971年 Yoko 増田静江コレクション
撮影:林雅之
©2015 NIKI CHARITABLE ART
FOUNDATION. All rights reserved.

■TOKYO ANIMA! 2015

若手アニメーション作家の新作・近作を一挙上映。大スクリーンで日本の最新の短編アニメーションに触れられる数少ない機会をお見逃しなく。

- ・日時:4月25日(土)・26日(日) 時間未定
※開催時間は決定次第、「六本木アートナイト2015」公式ウェブサイト上でお知らせします。
- ・場所:国立新美術館 3階講堂
- ・観覧料:無料 ※入場整理券を配布予定

■カンパニーデラシネラ「ある夜の出来事」

小野寺修二カンパニーデラシネラが、国立新美術館パブリックスペースにて一夜限りのパフォーマンスを行います。新作上演を予定、この機会をお見逃しなく。

- ・日時:4月25日(土)20:00~20:30
- ・場所:国立新美術館 1階ロビー
- ・観覧料:無料



ダンストリエナーレトーキョー2012
「ロミオとジュリエット」
撮影:MILLA



小野寺修二
撮影:石川純



<期間中の展覧会>

■ルーヴル美術館展 日常を描く—風俗画にみるヨーロッパ絵画の真髄

風俗画とは、人々の日常生活を題材にした絵画です。本展では、ルーヴル美術館の膨大なコレクションから厳選された83点の作品によって、ルネサンスから19世紀半ばまで、4世紀にわたるヨーロッパ風俗画の展開をたどります。初来日となるフェルメール《天文学者》のほか、ティツィアーノ、レンブラント、ムリーヨ、ヴァトー、シャルダン、ミレーなど各時代・地域を代表する画家たちの作品をとおして、風俗画の多彩な魅力をお楽しみください。

- ・開催期間:4月25日(土)10:00~22:00、4月26日(日)10:00~18:00
- ・場所:国立新美術館 企画展示室 1E
- ・観覧料:1,600円(一般)、1,200円(大学生)、800円(高校生)



ヨハネス・フェルメール 《天文学者》1668年
Photo © RMN-Grand Palais (musée du Louvre) /
René-Gabriel Ojéda / distributed by AMF -
DNPartcom

■マグリット展

ベルギー出身のルネ・マグリット(1898-1967)は、デ・キリコの影響によりシュルレアリスムに開眼、1930年代には独自の方法論を確立し、最晩年にいたるまでシュルレアリスムを代表する画家として活躍しました。国内では13年ぶりの回顧展となる本展は、ベルギー王立美術館・マグリット美術館、ならびにマグリット財団の全面的な協力を得て、国内外のコレクションから選りすぐった作品約130点により、その画業の全貌を紹介いたします。

- ・開催期間:4月25日(土)10:00~22:00、4月26日(日)10:00~18:00
- ・場所:国立新美術館 企画展示室 2E
- ・観覧料:1,600円(一般)、1,200円(大学生)、800円(高校生)



ルネ・マグリット《ゴルコンダ》
1953年 メニル・コレクション The Menil Collection,
Houston © Charly Herscovici / ADAGP, Paris, 2015

<一般の方からのお問い合わせ先>

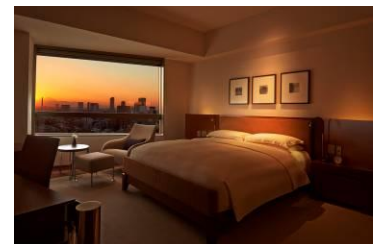
国立新美術館(住所:東京都港区六本木7-22-2)
TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル) <http://www.nact.jp/>

【その他】

■グランド ハイアット 東京 六本木アートナイト ステイ

「六本木アートナイト2015」を楽しみつくす、グランド ハイアット 東京での特別宿泊プラン。六本木の美術館3館(森美術館、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT)へご入場いただけるスペシャルチケットをプレゼント。思う存分アートをお楽しみいただいた後はぬくもり感溢れる客室でくつろぎのひとときをお過ごしください。

- ・内容:グランド ルーム(42㎡)にての宿泊と六本木の美術館3館(森美術館、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT)へご入場いただけるスペシャルチケットをプレゼント(1回のご滞在につきお一人様1枚)。
- ・期間:4月25日(土)~5月5日(火・祝)
- ・価格:1名 40,986円~81,972円 / 2名 47,196円~88,182円 (税・サービス料込、宿泊税別)
- ・プレスのお問い合わせ先:グランド ハイアット 東京 マーケティング コミュニケーションズ(TEL:03-4333-8882)

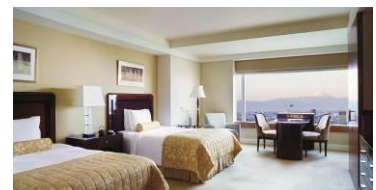


■ザ・リッツ・カールトン東京 六本木アートナイト・エクスペリエンス

「六本木アートナイト2015」を存分にお楽しみいただけるよう、ザ・リッツ・カールトン東京では特別宿泊プランをご用意。

夜が更けるにつれて魅力を増すアートイベントやパフォーマンスをご堪能いただいた後は、ザ・リッツ・カールトン東京のおもてなしで寛ぎのひとときをお過ごしください。

- ・内容:客室「デラックス」(52㎡)での宿泊と六本木の美術館3館(森美術館、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT)へご入場いただけるスペシャルチケットをプレゼント(1回のご滞在につきお一人様1枚)。
- ・期間:4月21日(火)~4月26日(日)予定
- ・価格:1名様・2名様同額で48,000円~
- ・プレスのお問い合わせ先:ザ・リッツ・カールトン東京 セールス&マーケティング部(TEL:03-6434-8708)



【アーティストディレクター 日比野克彦 プロフィール】



1958年岐阜市生まれ。東京藝術大学大学院修了。1986年シドニー・ビエンナーレ、1995年ヴェネチア・ビエンナーレに出品。領域横断的、時代を映す作風で注目される。2003年、越後妻有アートトリエンナーレで[明後日新聞社文化事業部]を設立、明後日朝顔プロジェクトの活動を開始。2005年水戸芸術館[HIBINO EXPO]、2007年金沢21世紀美術館[「ホーム→アンド←アウェイ」方式]、熊本市現代美術館[HIGO BY HIBINO]など個展を開催。2007年より「種は船」を金沢・横浜・鹿児島・種子島などで造船。2010年より3ヶ月かけて制作した自走式の船で2012年「種は船航海プロジェクト～階rom 舞鶴」で3ヶ月間航海を実施。国内各地で地域の人々と共同制作を行

いながら、受取り手の感受する力に焦点を当てたアートプロジェクトを展開し、社会で芸術が機能する仕組みを創出する。また、2010年よりサッカーW杯にむけ、スタジアムでスポーツとアートの交流をはかる「MATCH FLAG PROJECT」を開始。瀬戸内国際芸術祭 2013において、海の底の時間に焦点をあてた「瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト『一昨日丸』」を実施。現在、東京藝術大学教授、日本サッカー協会理事を務める。

【メディアアートディレクター 齋藤精一 プロフィール】



1975年神奈川県生まれ。建築デザインをコロンビア大学建築学科(MSAAD)で学び、2000年からNYで活動を開始。その後、ArnellGroupにてクリエイティブとして活動し、2003年の越後妻有アートトリエンナーレでアーティストに選出されたのをきっかけに帰国。その後、フリーランスのクリエイティブとして活躍後、2006年にライゾマティクスを設立。建築で培ったロジカルな思考を基に、アート・コマーシャルの領域で立体・インタラクティブの作品を多数作り続けている。2009年-2014年国内外の広告賞にて多数受賞。現在、株式会社ライゾマティクス代表取締役、東京理科大学理工学部建築学科非常勤講師。2013年D&AD Digital Design 部門審査員、2014年カンヌ国際広告賞 Branded Content and Entertainment 部門審査員。

【六本木アートナイト 2015 開催概要】

- 正式名称：六本木アートナイト 2015
- 基本理念：「六本木アートナイト」は六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴です。様々な商業施設や文化施設が集積する六本木の街に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどを含む多様な作品を点在させて、非日常的な体験をつくり出します。そして、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルを提案します。また、アートと街が一体化することによって、六本木の文化的なイメージを向上させ、東京という大都市における街づくりの先駆的なモデルを創出します。東京を代表するアートの祭典として、さらなる発展を続けます。
- 日時：2015(平成27)年4月25日(土)10:00~4月26日(日)18:00
 <コアタイム> 4月25日(土)18:22【日没】~ 4月26日(日)4:56【日の出】
 ※コアタイムはメインとなるインスタレーションやイベントが集積する時間帯です。
- 開催場所：六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース
- 入場料：無料(但し、一部のプログラムおよび美術館企画展は有料)
- 主催：東京都、アーツカウンシル東京・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合(五十音順)】
- 公式サイト：<http://www.roppongiartnight.com>
- 一般問い合わせ先：03-5777-8600(ハローダイヤル) 営業時間：年中無休 8:00~22:00

報道関係の皆様のお問い合わせ

六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局 (株式会社プラチナム内)

担当：福田 貴大、丸山 智紗子

TEL:03-5572-6072 FAX:03-5572-6075 MAIL:roppongiartnight@vectorinc.co.jp

